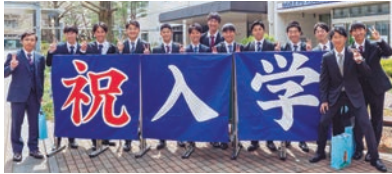




トルステン・シュトルツェンベルク  
一等書記官文化課長



立て看板前で記念撮影をする新入生



学内各所で記念撮影する様子がみられた

# 2022年度入学式 今年度は2,173名が入学

〈学部〉ドイツ語学科:154名、英語学科:308名、フランス語学科:103名、交流文化学科:123名、言語文化学科:183名、経済学科:325名、経営学科:362名、国際環境経済学科:144名、法律学科:297名、国際関係法学科:81名、総合政策学科:90名  
合計2,170名  
〈大学院〉外国語学研究科:3名 合計3名

4月1日、35周年記念館アリーナにて2022年度入学式を挙行し、2,173名が新たなスタートを切った。当日は、マスク着用や検温および手指の消毒などの感染症予防対策を取り、例年は全新生が一堂に会するところ、席の間隔を空け、学部、研究科を指定して午前と午後2部制で実施した。

式典で、山路朝彦学長は「皆さんは獨協大学で学ぶことに誇りと自信を持ち、この素晴らしい学修、生活環境の中で、自らを精一杯、磨き上げる努力を怠らないでください」と式辞を述べた。続いて、吉田謙一郎獨協学園理事長は「A・I・Oのツサエティ5・0に向けた大変革期の現在においては、課題解決のできる能力、イノベーションの能力が求められ、今後はそれにつながる『学び方』をしていく事が必要です」と激励の言葉を贈った。

また、当日急遽ご臨席がかなわなくなったクレームンス・フォン・ゲッツェ駐日ドイツ連邦共和国大使閣下からは、「大学での学びは『旅』です。目的地をしっかりと見据えてください」とお祝いのメッセージが寄せられた。このメッセージはご臨席いただいた駐日ドイツ連邦共和国トルステン・シュトルツェンベルク一等書記官文化課長によりドイツ語で新入生に届けられた。なお、式典の様子は、当日出席できない新入生と新入生のご家族を対象にオンライン上でも配信した。

# 第55回 卒業式・ 第44回 学位記授与式

■ 学 士

学 科	取得者数	総 代
ドイツ語学科	139名	紅林 佑佳
英語学科	225名	山崎 美羽
フランス語学科	128名	西條 あみ
交流文化学科	133名	山田 純平
言語文化学科	162名	菅野 美佳
経済学科	327名	高橋 結菜
経営学科	295名	細野 遥
国際環境経済学科	136名	伊藤 有里菜
法律学科	243名	川野 伸悟
国際関係法学科	86名	荒川 実穂
総合政策学科	77名	大久保 愛菜

■ 修 士

研究科	取得者数	総 代
法学研究科	1名	福田 朔
外国語学研究科	2名	海老原 貴司
経済学研究科	6名	森岡 直樹



学位記と共に記念撮影



各学科の総代が山路学長から学位記を受け取った

3月20日、第55回卒業式・第44回大学院学位記授与式を挙行し、1,960名の卒業生、修了生が旅立ちの日を迎えた。式典は、キャンパスおよび式典会場が密にならないよう学部を分け2部制で実施し、卒業生本人のみの出席とした。式典の様子は、当日出席できない卒業生と卒業生のご家族を対象にオンライン上でも配信した。

山路朝彦学長は「本日の学位記授与は、皆さんがコロナ禍の中、困難を克服して、学位にふさわしい学びを修められたことを獨協大学が証明するものです。学位を取得されたことに誇りを持ち、社会に堂々と乗り出してください」と式辞を述べた。続いて、吉田謙一郎獨協学園理事長は「変化を脅威として捉えるのではなく、チャンスと捉え、観察力、洞察力、吟味力を身に着けた上で、自らが幸運をつかむチャンスに備えてください」と卒業生を激励した。

卒業生を代表し、第一部ではドイツ語学科の初澤汐里さん、第二部では言語文化学科の鈴木真唯さんが答辞を述べた。式典終了後には、袴やスーツを着た卒業生同士で思い出を語りあう様子や、記念撮影をする姿が見られた。また、プロムナードには、クラブ・サークルの部員から寄せられたお祝いメッセージが書かれた看板が並べられ、学生センターには、風船で装飾されたアーチが設置されるなど、キャンパス内は祝福ムードに包まれた。